

# SAGA

Vol. 14

## ふるさと納税だより



### 「佐賀ブルーナーズ」B1で躍動!

佐賀市をホームタウンとする、プロバスケットボールチームがB2リーグで優勝し、B1リーグへ昇格しました。

佐賀市を  
応援してくださっている  
皆様へ

皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

皆様には、ふるさと納税を通して、本市に対して大変温かいご支援をいただき誠にありがとうございます。

ふるさと納税だよりは、皆様からの貴重な寄附金を、どのように活用させていただいたのか、その内容についてお知らせするものです。

今回は、令和3年度に頂戴した寄附金を活用し、令和4年度に実施した事業内容についてお知らせいたします。

今後も引き続き、佐賀市への応援をよろしくお願いいたします。



佐賀市長  
坂井 英隆

# 00

## 新型コロナウイルス感染症対策 のために①

活用額：118,351,000円

新型コロナウイルス感染症対策として庁舎入口にアルコール消毒器を設置、この補充用アルコール購入のため寄附金を活用いたしました。

庁舎を利用する際、市民の皆様にご使用いただくことで感染症の拡大予防に寄与いたしました。

また、同感染症が拡大していた中、多くの避難所の開設が必要となりました。

そのため、タブレット端末を活用し、避難所の混雑状況の公表のほか、情報の収集、共有、発信に有効に活用しました。

同感染症拡大の影響によって多様な働き方が求められる中で、職員用テレワークシステムを導入・運用することで、自宅や出張先など職場以外での勤務も可能となり、佐賀市民の生活にかかる市の業務を停滞させないようにしています。

今後もテレワークシステムの利活用により、様々なリスクにも耐えられる業務継続性の確保とテレワークの質向上に取り組み、市民生活をサポートする役割を果たしていきます。



佐賀市立小中学校の教室に設置している電子黒板の整備費用として使わせていただきました。電子黒板の大きな画面に、デジタル教科書の画像や動画を提示するなど、視聴覚教材を活用することにより、子どもたちの学習への理解を深める手助けとなっています。

また、書画カメラや学習ソフトウェアを活用し、電子黒板に子どもたちの作品やノートを提示して、伝え合う活動や学び合う活動に取り組むことにより、子どもたちが主体的・対話的に学びを広げたり深めたりすることができています。



活用額：148,287,000円



佐賀市立小中学校の教室に設置している学習用パソコンの整備費用として使わせていただきました。学習用パソコンで学習支援ソフトやデジタルドリルを活用することにより、子どもたちの学習への理解を深める手助けとなっています。

新型コロナウイルス感染症等により学校へ登校ができない子どもたちが学習用パソコンを自宅へ持ち帰り、自宅からオンラインで授業に参加するなど活用が広がっております。

また、教職員が利用するパソコンやサーバの運用費用として使わせていただきました。サーバをデータセンターに設置することにより、教職員が勤務する学校以外の学校からでもファイルにアクセスできるようになり、ICTを利活用しやすい環境が整っております。

授業目的公衆送信補償金制度に加入することにより、新型コロナウイルス感染症等により学校へ登校ができない子どもたちが自宅で録画した授業を視聴できる環境を整えました。

佐賀市立小中学校において、新刊本、人気の本や調べ学習に役立つ本など、それぞれの学校のニーズにあった本を選んで購入させていただき、学校図書館の本の充実を図りました。子どもたちは新しい本が棚に並ぶのを楽しみにしており、購入した本は毎日多くの子どもたちが手に取り、利用しています。

また、佐賀市立小中学校ではお互いに本の貸し借りをを行い、各学校で購入した本を全学校で活用しています。



市立図書館本館用として、子ども向けの本と子育て関連の本を購入しました。子ども向けの本は利用も多く、本に親しむことで豊かな心を育む大切な資料です。今回も多くの寄付を頂いたことで、新刊本を充実させるだけでなく、利用で傷んだ本も思い切って買い直しをすることができました。

購入した本は、図書館を訪れる多くの子ども達や子育て中の大人など、毎日、多くの人に利用されています。

「市民と共に育つ」佐賀市立図書館をこれからもよろしく願い申し上げます。

活用額：155,481,000円

本市では、市民総参加で子どもを育む「子どもへのまなざし運動」を推進しています。市内各地域で取り組まれている「登下校見守り」「学校行事」「地域イベント」等の様々な活動に役立てていただくよう、ベスト、帽子やのぼり旗などを製作しました。地域の皆様からは「ベストは目立つ色で分かり易く、子どもたちとのコミュニケーションもとり易い」など、ありがたい言葉をいただいています。

また、経済的理由により就学が困難な市内小中学生2,783人の保護者に、給食費、新入学用品を含めた学用品のほか、修学旅行や校外活動に要した経費などを支給し、小中学生の学びを支援することができました。



佐賀市立小中学校で児童・生徒が使用する教材等を購入させていただきました。

サッカーゴール、跳び箱、体操マット、ライン引きなどの体育道具、オルガン、小太鼓、箏などの楽器、糸のこ機械、ミシンなど技術家庭科で使用する備品、特別な支援が必要な児童・生徒のための教材など、学校生活を充実させる様々な備品等を購入することができました。

児童・生徒たちのために、大いに活用させていただいています。

子どもの学びの環境を

充実するために④

# 03

## 高齢者、障がい者福祉の 充実のために



佐賀市営バス及び昭和バスを利用される70歳以上の方を対象に、持ってれば1回100円で乗車することのできる「シルバーパス券」の購入費の一部を助成しています。

窓口にお見えになった方からは、買い物や通院の際に優待乗車券をご活用頂いていると伺っております。また、運転免許証を返納された方からは、山間の温泉にご近所の方と行くのが楽しみだとの声をいただいております、高齢者にもたいへん好評な事業です。

活用額：45,583,000円

活用額：4,704,000円

佐賀市では、市民のまちづくりへの参加と実践をすすめるために、市民活動団体が行う公益的な事業に対して補助金を交付する制度「佐賀市市民活動応援制度」(愛称「チカラット」)を実施しています。

令和4年度は、「保健・医療・福祉」、「学術・文化・芸術・スポーツ」、「子どもの健全育成」などをテーマとする20事業(ちかっと部門8事業、カラット部門12事業)に対して、皆様からの寄附金を活用させていただきました。



※写真は小学校熱気球教室の様子

## 市民活動の応援のために

# 04



交通安全の啓発のため、市内の幼稚園、保育園、こども園、小学校、中学校などで1万9千人以上を対象に交通安全教室を開催しました。

また、四半期ごとの交通安全運動期間中には市内各地で交通安全の啓発イベントを実施しています。その他、各小学校のスクールゾーンの路面標示を修繕したり、交通安全啓発のラッピングバスを運行したりもしています。

佐賀市の交通安全指導員は、通学路等において、主に子どもたちの登校時に制服を着て、歩行者の保護誘導をしています。各小学校区で活動しており、市内では現在106人の指導員が活動しています。

いただいた寄附は指導員の活動経費として謝金や装備品などに使わせていただきました。

活用額：17,337,000円

活用額：42,477,000円

佐賀市では、毎年、春と秋に「川を愛する週間」という市民総出の河川浄化運動が行われており、9万人近い方々が水路の清掃活動に参加しております。頂いた寄附は、河川清掃道具の購入・修理などに有意義に使わせていただいております。

また、近年多発している局地的集中豪雨や台風の大雨などによる浸水被害を最小限に留めるため、樋門樋管や排水ポンプ等浸水被害対策に係る施設等の適切な維持管理や、調整池の貯留機能が損なわれることを防ぐための浚渫・除草・樹木伐採といった対策、災害に備え避難所における生活環境の向上などを目的に、食料をはじめ、LEDランタン、救急セット、更衣室用パーテーション等の購入に活用させていただきました。



佐賀市の将来を担う子どもたちに環境教育を行い、習慣的に環境問題に取り組む姿勢を育むことを目的とした活動を行っています。

皆様からの寄附金は、小学校4年生向けの社会科副読本「くらしとごみ」の作成や、小中学校が市内の環境施設(清掃工場と東よかビジターセンター「ひがさす」)を見学する際のバス借上げ料の一部補助に活用しています。

佐賀市では、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロとすることを目指して「ゼロカーボンシティさがし」を表明し、市民や事業者の皆様と一体となって省エネやごみの削減などを進めています。

令和4年度は、環境に配慮した経営への転換が求められている事業者の皆様へ脱炭素経営に取り組むきっかけをつくるため、セミナーを開催する経費として皆様からの寄附金を活用させていただきました。



また、三瀬村にある洞鳴の滝に、平成30年に小水力・太陽光発電設備を備えた「洞鳴の滝ふれあい館」を整備して、一般の方を対象に、環境学習や地域の活性化を目的とした集会等にご利用いただいております。

令和4年度は、施設がいつでもきれいにご使用いただけるための環境整備や、発電設備が安定して運転できるための管理の経費として活用させていただきました。

また、走行時に温室効果ガスを排出しない電気自動車の普及を促進しています。令和4年度は市が管理運営している市内4か所の急速充電設備(諸富文化体育館、道の駅大和そよかぜ館、佐賀市役所富士支所、久保田特産物直売所味らん館)の電気代やコールセンターの費用などに使わせていただきました。

活用額：16,196,000円



事業系ごみの減量とリサイクルに対する意識の向上を目指した取り組みを行っており、令和5年1月から食品ロス削減マッチングサービス「SAGAタベスケ」をスタートしました。このサービスは食品小売店等で売れ残りそうな食品等の情報をWeb上に公開し、購入を希望する市民とのマッチングを行うことで、事業系食品ロスの削減を図るとともに、市民のもったいない意識の高揚にも繋げるものです。

令和4年度は、登録店舗が10店舗、991人のユーザーに登録いただき、55kgの削減に貢献しました。



令和4年4月に本市、佐賀大学全学教育機構、佐賀SDGs官民連携円卓フォーラム、リコージャパン株式会社マーケティング本部佐賀支社と締結した「SDGs教育の推進及びSDGsの目標達成に向けた行動促進のための連携協定書」に基づき、市内事業所等の人材育成支援や広報及び普及啓発活動や事業連携に関することに取り組むとともに、市内事業所等ステークホルダーとの連携を強化し、企業価値の向上やSDGsの目標達成に向けた実践的行動を促進していきます。

家庭から出される燃えるごみの中で最も割合が多い生ごみを中心に、ごみ減量と生ごみの有効利用を図る取り組みを行っています。

(1)NPO法人へ委託して市内各地で生ごみ減量の講座を開催し、各家庭での取り組みが継続するように相談・サポートを行っています。ダンボールコンポストによる生ごみ堆肥を使った野菜や花づくりなど、楽しみながら取り組める方法を紹介しました。令和4年度は、56回の講座に962人の参加があり、サポート活動は253人を対象に行いました。

(2)生ごみの減量と資源化のため、家庭用の生ごみ処理容器等の購入費補助を行っています。令和4年度は113件に対し、68万円を補助しました。



活用額：7,738,000円



佐賀市は、緑豊かな山間部、佐賀平野に広がるクリークや田園風景、宝の海である有明海など素晴らしい自然環境に恵まれています。このような環境を維持し、後世に残していくために各種環境調査を実施しています。今回の寄附により、市内134地点で河川水、地下水等の水質調査を行い、また市内7ヶ所で自動車騒音・振動調査、一般環境騒音調査等を行いました。結果は市ホームページ等で公表しています。

今後も暮らしに身近な生活環境の向上のために取り組んでまいります。

暮らしに身近な  
生活環境の向上のために①



「さが桜マラソン2023」は、全国から約9,000人のランナーをお迎えし、4年ぶりに通常規模の大会を令和5年3月24日に開催しました。

皆様から頂いた寄附金を活用してスティックバルーンなど、応援グッズを作製しました。コース沿道や給水所で、小さい子どもから大人まで、ピンクのスティックバルーンをふってランナーをお迎えするおもてなしが、さが桜マラソン人気の秘訣です。

大会終了後、ランナーからも「佐賀の良さを満喫できました」等の好評の声をいただいております。

活用額：8,603,000円

佐賀市では、地域で野良猫をお世話したり見守ったりする地域猫活動を行う方や、猫を飼っている方を対象に不妊去勢手術にかかる費用の一部を助成しています。これにより、新たに野良となる猫を無くし、捕獲や処分をすることなく野良猫を少しずつ減らしていくことを目指しています。この活動を続けることで、地域に生きる猫たちが幸せに暮らせるよう、今後も見守っていただければと思います。

また近年、特定外来生物であるアライグマによる生活環境被害の件数が増加傾向にあります。狂犬病やアライグマ回虫等の感染症を媒介するとも言われているため、市民の方と協力してアライグマの捕獲を行っています。令和4年度の市街地における捕獲頭数は前年から8頭増え142頭となりました。市民の皆様が安心して暮らせるよう、今後も対策を続けていきます。



# 11

## 賑わいを生み出す 佐賀駅周辺にしていくために



JR佐賀駅の駅前広場の再整備に使わせていただきました。新しくなった佐賀城口(南口)の交流広場は、待ち合わせや天気の良い日にランチをしながらくつろいだり、イベントやキッチンカーの出店などで活用できる新たな「佐賀のまちの玄関口」へと生まれ変わりました。

週末にはイベントで多くの人が集まり、賑わいが生まれています。

活用額：6,940,000円

活用額：17,840,000円

佐賀市では、市民が主体的にみどりあふれるまちづくりを推進する活動を支援しています。公園や公民館など、地域に密着した場所で花植え活動をされている団体が多く、市内が花でいっぱいになるように日々のお世話などを頑張っていただいています。

皆様から頂いた寄附金は、現在210団体が登録されている花づくりボランティア団体に対し、年2回、緑化資材(花苗や肥料等)の現物支給を行う費用として、大切に活用させていただきました。また、花づくりボランティア活動啓発のための、各花壇への看板の設置も行っています。



花とみどりあふれる  
美しい佐賀のために①

# 12

佐賀市では文化財の所有者が実施する保存修理等に対する補助金による支援や、市が所有している史跡の維持管理を行っています。

令和4年度は、次の事業に「ふるさと応援寄附金」を活用し、傷んだ施設の修理や天然記念物の樹勢回復等及び史跡の維持管理等を行いました。

【補助金による支援】

- ①重要文化財「吉村家住宅」保存修理事業
- ②佐賀市重要文化財(天然記念物)「新北神社楠木No.1」剪定・樹勢回復及び支柱取替え事業

【史跡の維持管理】

- ①重要文化財「佐賀城鯨の門及び続櫓」
- ②佐賀県史跡「船塚」
- ③佐賀市史跡「大野代官所跡」



活用額：25,941,000円



花とみどりあふれる

美しい佐賀のために②

佐賀市では、“みどりと水が調和した佐賀の風景や人の営みを、市民と一体となって、子どもたちの世代へと守り育てよう”という思いを引き継ぎ、市民と手を取り合いながら、みどりあふれるまちづくりを進めています。

皆様から頂いた寄附金は、多布施川河畔公園の桜の植替えや、市内都市公園の樹木の剪定等に活用させていただきました。

また、蓮池公園においては、地域の方々により、花菖蒲の復元に取り組まれており、市もその支援を行っています。

伝統文化・遺跡等の  
保存・継承・振興のために②



佐賀市には現在でも各地域に伝統芸能が継承されていますが、その中で国、県または市の重要無形民俗文化財に指定されている12の伝統芸能があります。

これらの指定無形民俗文化財の保存・継承のために映像記録を作成する佐賀市文化財総合活用推進事業実行委員会が、令和4年度に実施した次の2つの文化財の映像記録作成事業に対して補助を行いました。

【令和4年度記録作成対象】

- ①国指定重要無形民俗文化財「白鬚神社の田楽」
- ②市指定重要無形民俗文化財「東与賀銭太鼓」



肥前国庁跡は奈良・平安時代の役所の跡で、発掘調査によりその全貌が判明している学術的にも極めて価値のある遺跡で、国史跡に指定されています。現在は肥前国庁跡歴史公園として整備され、南門等が復元されています。

令和4年度の芸能祭では、復元された南門をライトアップして、薩摩琵琶・大和太鼓・ポップス&ジャズなどの演奏会を実施しました。芸能祭はこれまで8回実施していますが、毎回多くの方が来場され、高評価を得ています。

伝統文化・遺跡等の  
保存・継承・振興のために③

佐賀市には、地域の方々などで守り伝えられてきた固有の行事や伝統芸能、歴史や文化(地域資源)が溢れています。

「地域文化保存・継承支援事業」では、この地域資源を次世代に継承することを目的とした活動に支援を行っており、令和4年度は下記の3事業への補助を行いました。

- ①高木瀬歴史散歩マップ作成
- ②新田天満宮鳥居補修事業
- ③東崎ヶ江地藏堂改修



国史跡 東名遺跡は、国内最古の湿地性貝塚(約8000年前)で、日本を代表する縄文時代の遺跡です。現在、治水対策用の調整池の中にあるため、遺跡を恒久的に保存していくためには、保存環境を継続的に監視していく必要があります。そのため、令和4年度もモニタリング調査を行い、保存環境が安定していることを確認しました。その他、東名遺跡から出土した日本最古級の資料を展示公開している東名縄文館の維持管理も行っています。

大隈重信記念館では、総理大臣を二度務めた政治家、また、早稲田大学の創設者として有名な佐賀の偉人である大隈重信侯に関連する貴重な資料や映像を展示しています。

記念館は、早稲田大学名誉教授今井兼次氏の設計により、昭和41年に竣工、翌42年に開館しました。平成29年6月には、再現することが容易でない建造物として登録有形文化財(建造物)に登録されています。

【令和4年度の入館者数:11,546人】



活用額：20,404,000円



2022佐賀インターナショナルバルーンフェスタを、3年ぶりにお客様をお迎えし、佐賀市嘉瀬川河川敷をメイン会場として開催しました。

大会は、国内大会として開催し、95機のバルーンが参加、期間中は84万9千人のお客様で賑わいました。

皆様から頂いた寄附金は、ポスター、パンフレット等の作成といった広報費用及び、お客様に安全にバルーンフェスタを楽しんでいただけるように、会場内における観客対策費用の一部として大切に活用させていただきました。

【開催期間】11月2日(水)から11月6日(日)

活用額：6,657,000円



街なかの祭り等を通じた  
賑わいづくりのために



令和4年度「第23回佐賀城下ひなまつり」が約3年ぶりに開催されました。

鍋島家伝来の雛人形や雛道具、佐賀錦や鍋島緞通、鍋島小紋等の佐賀にゆかりのある雛人形の展示に加え、令和2年度日本遺産に指定された「シュガーロード」にまつわる佐賀銘菓の販売等も行われ、多くの人で賑わいました。

また、佐賀城本丸歴史館では、市内の小中学生が制作した個性豊かな雛人形が展示される「第9回子どもびなの宴」も併せて開催され、家族連れ等多くのお客様にご覧いただくことができました。

【開催期間】2月11日(土.祝)から3月21日(火.祝)までの39日間

活用額：1,564,000円

活用額：14,947,000円

ラムサール条約湿地の  
保全と活用のために

東よか干潟は、渡り鳥であるシギ・チドリ類の渡来数が日本一を誇り、水鳥の生息地として国際的に重要な湿地として、ラムサール条約湿地に登録されています。

世界に認められた東よか干潟を守るための環境調査や保全活動のほか、その魅力を現地で伝えるため、ボランティアガイドの運営などを行っています。

また、「東よか干潟」の学習・交流・観光等の拠点施設である、「東よか干潟ビジターセンター“ひがさす”」を中心にワークショップやイベントを開催し、環境教育や地域の振興にも取り組んでいます。



# 19

## 佐賀空港北側の 川副桜ロードのために



「川副桜ロード」は九州佐賀国際空港の北側にあり、春には約400本の桜が咲く佐賀市でも有数の桜の名所として長年親しまれています。

桜が満開の時期になると、道路の両側に植えられた桜がトンネルのようになり、毎年多くの観光客や花見客が訪れます。

昨年度も皆様から寄せられた『ふるさと応援寄附金』のおかげで、桜の維持管理を行うことができました。

今後も、この美しい桜ロードを多くみなさまに親しんでいただけるよう努めて参ります。

活用額：4,548,000円

活用額：1,000,000円

「温泉に入って映画を見られたらいいですね。映画館の無い町で映画祭も面白いと思いますよ。」と、佐賀市の自主映画団体の呼びかけで、昭和59年にこの「富士町古湯映画祭」は始まりました。

37回目は、「石井裕也監督と選んだこの6本」と題し、ゲストに監督の石井裕也さん、俳優の升毅さん、俳優の西田聖志郎さん、俳優の安部萌生さんをお招きしました。

映画祭期間中は1,090人の入場者で賑わい、たいへん面白かった等、好評の声をいただいております。

【開催期間】9月23日(金・祝)から25日(日)



## 古湯映画祭等で賑わいづくりを

# 20

活用額：11,863,000円

サガン鳥栖との交流宣言に基づき、チームやサッカーを身近に感じてもらうため、選手やチームと直接交流できる事業等を実施しました。

市内小学校5校での巡回サッカー教室、市内中学校3校で現役選手が“夢”について語る「夢」先生をはじめ、中野伸哉選手が地域担当選手となり、チームと本市を盛り上げるPR活動を行ないました。

また、ホームゲームで本市がマッチスポンサーを務め、本市の取組みを来場者にPRしたほか、試合での一体感を醸成するため、応援用クラブバナーを制作しました。



活用額：666,000円

みつせ高原キャンペーン等で  
賑わいづくりを



佐賀市の北の玄関口、三瀬村周辺の観光資源を積極的にPRし、観光客誘致及び地域活性化を図る目的で、『ゆっくりあそぼう みつせ高原』をテーマに「みつせ高原キャンペーン」を開催しました。

情報誌を作成し、三瀬の高原地域周辺のグルメ・買物・観光農園・レジャーなどの観光情報を幅広く紹介しました。

参加店を利用しスタンプを集めて応募すると抽選で賞品が当たるスタンプラリーを開催し観光客の周遊を図りました。

【開催期間】 7月16日～12月31日

スタンプラリー応募者数 1,667人

佐賀バルナーズとの連携協定に基づき、チームやバスケットボールを身近に感じてもらうため、選手やチームと直接交流できる事業等を実施しました。

コーチや選手等による子育て中のママを対象とした託児付きスポーツ教室、ホームゲームで試合運営に従事する職業体験のほか、ホームゲームで本市がマッチスポンサーを務め、記念ユニフォームの配布、特産品抽選会、当該試合への市民無料招待、エスコートキッズ等の市民参加イベントなどを実施しました。



活用額：1,354,000円

## 令和5年度活用 ふるさと応援寄附金活用見込

No.	メニュー項目	活用見込額(円)	備 考
00	新型コロナウイルス感染症対策のために	124,680,000	
01	子どもの学びの環境を充実するために	155,377,000	
02	子どもたちへの支援・応援のために	179,915,000	
03	高齢者、障がい者福祉の充実のために	49,646,000	
04	市民活動の応援のために	9,516,000	
05	災害に強いまちづくりのために	33,428,000	
06	安全・安心に暮らせるまちづくりのために	18,728,000	
07	二酸化炭素を使って子どもから高齢者まで喜ぶ社会に	31,698,000	
08	持続可能な低炭素・資源循環のまちづくりのために	19,586,000	
09	暮らしに身近な生活環境の向上のために	10,980,000	
10	スポーツを活かしたまちづくりのために	8,533,000	
11	賑わいを生み出す佐賀駅周辺にしていきたいために	7,366,000	
12	花とみどりあふれる美しい佐賀のために	18,512,000	
13	幕末産業遺産の保存・活用のために	7,299,000	
14	伝統文化・遺跡等の保存・継承・振興のために	23,162,000	
15	大隈重信記念館事業を推進するために	26,680,000	
16	“バルーンのまち佐賀”推進のために	14,533,000	
17	ラムサール条約湿地の保全と活用のために	16,736,000	
18	街なかの祭り等を通じた賑わいづくりのために	3,296,000	
19	佐賀空港北側の川副桜ロードのために	9,205,000	
20	古湯映画祭等で賑わいづくりを	5,294,000	
21	みつせ高原キャンペーン等で賑わいづくりを	671,000	
22	サガン鳥栖の応援のために	19,705,000	
23	佐賀バルナーズの応援のために	7,317,000	
24	市長おまかせ(指定なし)		事務経費他に振り分け
		801,863,000	